

平成26年 網走市議会
総務文教委員会会議録
平成26年8月29日(金曜日)

○日時 平成26年8月29日 午前10時00分開会

○場所 委員会室

○議件

1. 財務4表(新公会計)について
2. その他

○出席委員(6名)

委員長	平賀貴幸
副委員長	井戸達也
委員	飯田敏勝
	近藤憲治
	高橋政行
	七夕和繁

○欠席委員(0名)

○委員外議員(2名)

議長	小田部善治
副議長	山田庫司郎

○傍聴議員(3名)

金兵智則
佐々木玲子
松浦敏司

○説明者

副市長	大澤慶逸
企画総務部長	川田昌弘
財政課長	秋葉孝博

○事務局職員

事務局長	佐藤明
次長	吉田正史
総務議事係長	岩尾弘敏
係	菊地香代子
係	田中康平

午前10時00分開会

○平賀貴幸委員長 おはようございます。
ただいまより総務文教委員会を開会いたします。
本日の案件については、財務4表についての1件

であります。

それでは、財務4表について財政課長より説明を求めます。

○秋葉孝博財政課長 それでは新地方公会計制度における財務4表について御説明させていただきます。
資料1号をごらんください。

まず取り組みの目的でございますが、複式簿記・発生主義の考え方を取り入れた財務書類を作成することで、資産と債務を適切に把握し、管理を進めようとするものでございます。

作成しております財務4表ですが、総務省方式改訂モデルに基づきまして、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書、さらに特別会計や企業会計などをあわせた連結貸借対照表を作成しております。

4表の内容につきまして簡単に御説明いたします。

1枚めくっていただきまして、3ページ、連結した網走市全体の貸借対照表でございます。

表の左側が資産の部でございます。1 公共資産の合計は1,189億420万2,000円、2 投資等の合計は43億6,099万円、3 流動資産の合計は59億2,307万円で、資産合計では1,291億8,826万2,000円となっております。

次に、右側が負債の部でございます。1 固定負債の合計は512億8,374万8,000円、2 流動負債の合計は76億8,465万2,000円、負債合計では589億6,840万円となり、資産から負債を差し引いた純資産合計は702億1,986万2,000円となっております。

1枚めくっていただきまして、4ページは、一般会計と市有財産整備特別会計をあわせた普通会計ベースで作成いたしました貸借対照表でございます。

次に、5ページの行政コスト計算書は、1年間の資産形成に結びつかない行政サービスと、その対価として得られた使用料・手数料等の収入を目的別に記載しております。

1枚めくっていただきまして、6ページの純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産の部に計上された数値の年度内の動きを示すものでございます。

次に7ページ、資金収支計算書は、性質の異なる3つの区分、経常的収支、公共資産整備収支、投資・財務的収支に分けて記載したものでございます。

2ページに戻っていただきまして、財務4表による分析例でございます。

まず、平成25年度決算の傾向でございますが、国の経済対策を活用いたしまして、小麦集出荷施設、卯原内ダムの改修など大型の建設事業を実施しておりますので、試算額と地方債残高が増加しております。

これは平成24年度に引き続き2年連続となりますので、各指標につきましては、前年度と同様の傾向となっております。

また、平成25年度は地域の元気臨時交付金が交付され、これの大半約22億8,000万円を基金に積み立てしておりますので、バランスシートにおける資産の部、投資の基金残高が増加しているといった特徴がございます。

それでは指標ですが、初めに、①の社会資本形成に対して、これまでの世代での負担割合を見る指標では、前年度と比べプラス4%の61%となっております。

例年に比べ増加しておりますが、これは先ほどの元気臨時交付金の基金積み立てにより資産が増加し、このことにより純資産も増加いたしますので、算出の式では分子が大きくなり、このことにより比率が上昇したものでございます。

②の社会資本形成に対して、将来世代の負担割合を見る指標では43%、前年度と比べマイナス1%となっております。

③の資産形成に何年分の歳入が充当されたかを見る指標では3.26となり、前年度との比較では若干の減少となっております。

④の地方債を経常的な収支で何年で返済できるかを見る指標では9年となり、前年度との比較では1年の減少となっております。

最後に、⑤の減価償却累計額から見る資産の老朽化比率では、前年度と比べ増減がなく、63%となっております。

全体を通しまして、国の経済対策を活用した施設整備に対しましては、後年度、公債費に対する交付税措置がございます。

また、今回の地域の元気臨時交付金は特殊要因となります。

しかしながら、バランスシートではこうした要因を数字的に反映することが制度上できないといった実情がございます。

従いまして、実質的な財政状況につきましては、

これまでどおり変わらず改善基調にあると分析しております。

私からの説明は以上でございます。

○平賀貴幸委員長 それでは質疑に入ります。

○飯田敏勝委員 今回の決算カードを含む公会計は資産が見えないということで、こういうようなバランスシートを出す一般的なわかるということなのですけれど、今回は決算委員会があるのですけれども、一つだけちょっとお聞きしたいのですけれども、4ページの貸借対照表の中で、潮見の地盤沈下は市有財産に入ってここに出てくるのですけれども、あの資産は売り出した時が、言葉は悪いですが、傷物だったのでそれを損害賠償するといった場合に、結果的に特別損失ということだと思っております。この貸借対照表ではどこに表れてくるのかちょっとお聞きしたいと思います。

○秋葉孝博財政課長 4ページのバランスシートでございますが、ここに1の公共資産、(2)売却可能資産約17億6,300万という数値がございますが、ここには市有財産会計で所管しております売却可能な資産を計上しております。

今お話しした潮見の軟弱地盤の土地につきましては、今の実勢価格で約5億8,600万円という数値を押さえておりますが、これは市が取得している資産になるのですが、これにつきましてはこの売却可能資産額には計上しておりません。

以上でございます。

○飯田敏勝委員 それでいくと、結果的には損害賠償となった場合、特別損失になるので、それも結果的には貸方というか負債には表れてこないということですか。

○秋葉孝博財政課長 今回の単式簿記を複式簿記に置きかえて財務4表をつくっておりますので、今御指摘の件につきましてはバランスシート上には出てこないという形になります。

○飯田敏勝委員 資産の部の売却可能資産で約5億というので、価値はあるけれども損失は出てこないということなので、それはそういうやり方ではしか見られないということがわかったので、それは今後決算委員会等を含めてお聞きしたいと思います。以上です。

○平賀貴幸委員長 ほかございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

では、これについては説明を受けたということで確認しました。

○平賀貴幸委員長 次にその他であります、理事者のほうから何かございますでしょうか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

委員の皆さんからは。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それではこれにて総務文教委員会を終了いたします。

お疲れさまです。

午前10時10分閉会
